

情報処理技術者試験事業の実施状況について

平成 22 年 4 月 28 日

独立行政法人 情報処理推進機構
情報処理技術者試験センター

1. 事業概要

四国支部（高松試験地）及び沖縄支部（那覇試験地）が行っていた試験実施事業（試験会場の確保、会場責任者、試験監督員等（以下「会場責任者等」という。）の確保及び割付、試験運営業務等）に係わる業務について、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」（平成 18 年法律第 51 号）に基づく民間競争入札を行い、以下のとおり事業を実施した。

2. 請負業務期間

平成 19 年 10 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日までの 3 年 3 か月間

実施する試験は次のとおり。

- ① 平成 20 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 20 年度春期の試験
- ② 平成 20 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 20 年度秋期の試験
- ③ 平成 21 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 21 年度春期の試験
- ④ 平成 21 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 21 年度秋期の試験
- ⑤ 平成 22 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 22 年度春期の試験
- ⑥ 平成 22 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 22 年度秋期の試験

3. 事業実施機関

（高松試験地） 株式会社全国試験運営センター

（那覇試験地） 那覇商工会議所

4. 高松試験地

(1) 実施規模

表 1 実施規模

| | 平成18年度春 期 | 平成18年度 秋期 | 平成19年度春 期 | 平成19年度 秋期 | 平成20年度春 期 | 平成20年度 秋期 | 平成21年度春 期 | 平成21年度秋 期 |
|------------|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------|--------------|--------------|--------------|
| 受験申請 者数 | 1,336 | 1,404 | 1,103 | 1,269 | 1,001 | 1,093 | 1,061 | 1,208 |
| 会場数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 事業実施 機関 | 独立行政法人情報処理推進機構 | | | | 株式会社全国試験運営センター | | | |

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
 - ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
 - ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査結果

①平成20年4月～平成22年3月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

| 調査項目 | 平成18年度春期 | 平成18年度秋期 | 平成19年度春期 | 平成19年度秋期 | 平成20年度春期 | 平成20年度秋期 | 平成21年度春期 | 平成21年度秋期 |
|-----------------|----------------|----------|----------|----------|----------------|----------|----------|----------|
| 試験問題の事前漏洩件数(目標) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 試験問題の事前漏洩件数(実績) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 答案用紙の回収漏れ件数(目標) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 答案用紙の回収漏れ件数(実績) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 事業実施機関 | 独立行政法人情報処理推進機構 | | | | 株式会社全国試験運営センター | | | |

なお、事前漏洩を絶対防止するため、独立行政法人 情報処理推進機構(以下、機構という。)と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日2日前、機構が手配した問題輸送事業者の倉庫で、問題輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、輸送コンテナの鍵を解錠し、封印を外して問題等の箱数を確認する。確認後は、施錠、再封印し問題輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題輸送事業者が輸送してきた輸送コンテナを試験会場を受け取り、輸送コンテナの鍵を解錠し、封印を外して問題等箱数を再確認するとともに、問題箱等が未開梱であることを検品の上、問題輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。
- (c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成20年4月～平成22年3月に実施した試験における調査項目ハの結果

- (a) 試験時間の過不足の防止について
該当する事実はなかったが、仮に試験開始時刻が遅れた場合は、遅れた時間分、終了時刻を遅らせることにより、試験時間の過不足が絶対生じないように、指導している。
- (b) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について
該当する事実はなかった。
- (c) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止
該当する事実はなかった。
- (d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処
該当する事実はなかったが、不正行為を絶対防止するため、机上に置くことが認められるもの*以外は、何も机上に置かせないようにする。試験中は、試験室内を定期的に巡回するよう指導している。

※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆又はシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ティッシュ

- (e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。
- (f) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静謐な環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。
結果は、試験会場は表3のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表3 借用会場

| | 平成18年度春期 | 平成18年度秋期 | 平成19年度春期 | 平成19年度秋期 | 平成20年度春期 | 平成20年度秋期 | 平成21年度春期 | 平成21年度秋期 |
|--------|-------------------|---------------------|-------------------|---------------------|-------------------|---------------------|-------------------|---------------------|
| 借用会場 | 香川大学(教育学部) | 英明高等学校 | 香川大学(教育学部) | 英明高等学校 | 香川大学(教育学部) | 英明高等学校 | 香川大学(教育学部) | 英明高等学校 |
| 受験申請者数 | 1,336 | 1,404 | 1,103 | 1,269 | 1,001 | 1,093 | 1,061 | 1,208 |
| 会場規模 | 1,500 | 1,500 | 1,200 | 1,400 | 1,100 | 1,200 | 1,100 | 1,300 |
| 交通機関 | JR高徳線 昭和町駅から徒歩10分 | JR高徳線 栗林公園北口駅から徒歩5分 | JR高徳線 昭和町駅から徒歩10分 | JR高徳線 栗林公園北口駅から徒歩5分 | JR高徳線 昭和町駅から徒歩10分 | JR高徳線 栗林公園北口駅から徒歩5分 | JR高徳線 昭和町駅から徒歩10分 | JR高徳線 栗林公園北口駅から徒歩5分 |
| 事業実施機関 | 独立行政法人情報処理推進機構 | | | | 株式会社全国試験運営センター | | | |

- (g) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果
該当する事実はなかった。
- (h) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止
株式会社全国試験運営センターは、警備員を配置し対応したため問題も発生せずクレームもなかった。
- (i) 試験の座席配置については、原則、1人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

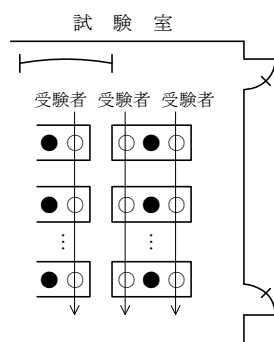


図 座席配置の例（『監督員マニュアル』より抜粋）

③平成20年4月～平成22年3月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

| | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|--------|----------------|------------|------------|----------------|------------|------------|
| 事業実施機関 | 独立行政法人情報処理推進機構 | | | 株式会社全国試験運営センター | | |
| 受験申請者数 | 3,034 | 2,740 | 2,372 | 2,094 | 2,269 | — |
| 実施経費 | 10,607,000円 | 8,421,000円 | 7,449,000円 | 4,214,284円 | 4,214,284円 | 4,214,285円 |

※ 株式会社全国試験運営センターの実施経費は、請負契約金額を3等分したものである。

(4) 調査方法

機構は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(5) 調査結果における特記事項

- ① 市場化テストにより、民間事業者に委託した四国支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、また、会場確保も前年からの継続ではあるが事業者自身で確保できたことから、上記のとおり概ね評価できる。
- ② 試験事業を確実に遂行するために、試験監督員等に対して試験日の2週間前までにマニュアルを配付後、実施要項には記載されていないが、e-learning 研修という名の実験マニュアルチェックテストを行うなど受託事業者の創意工夫が発揮されており、概ね評価できる。

5. 那覇試験地

(1) 実施規模

表5 実施規模

| | 平成18年度 春期 | 平成18年度 秋期 | 平成19年度 春期 | 平成19年度 秋期 | 平成20年度 春期 | 平成20年度 秋期 | 平成21年度 春期 | 平成21年度 秋期 |
|--------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 受験申請者数 | 1,632 | 1,840 | 1,614 | 2,009 | 1,581 | 1,890 | 1,778 | 2,164 |
| 会場数 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 4 | 1 | 2 |
| 事業実施機関 | 独立行政法人情報処理推進機構 | | | | 那覇商工会議所 | | | |

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査結果

①平成20年4月～平成22年3月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表6 調査項目イ、ロの目標と実績

| 調査項目 | 平成18年度 春期 | 平成18年度 秋期 | 平成19年度 春期 | 平成19年度 秋期 | 平成20年度 春期 | 平成20年度 秋期 | 平成21年度 春期 | 平成21年度 秋期 |
|---------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 試験問題の事前漏洩 件数(目標) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 試験問題の事前漏洩 件数(実績) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 答案用紙の回収漏れ 件数(目標) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 答案用紙の回収漏れ 件数(実績) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 事業実施機関 | 独立行政法人情報処理推進機構 | | | | 那覇商工会議所 | | | |

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日2日前、機構が手配した問題輸送事業者の倉庫で、問題輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、輸送コンテナの鍵を解錠し、封印を外して問題等の箱数を確認する。確認後は、施錠、再封印し問題輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題輸送事業者が輸送してきた輸送コンテナを試験会場を受け取り、輸送コンテナの鍵を解錠し、封印を外して問題等箱数を再確認するとともに、問題箱等が未開梱であることを検品の上、問題輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。
- (c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月に実施した試験における調査項目ハの結果

(a) 試験時間の過不足の防止について

該当する事実はなかったが、仮に試験開始時刻が遅れた場合は、遅れた時間分、終了時刻を遅らせることにより、試験時間の過不足が絶対生じないように、指導している。

(b) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について

該当する事実はなかった。

(c) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止

該当する事実はなかった。

(d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかったが、不正行為を絶対防止するため、机上に置くことが認められるもの*以外は、何も机上に置かせないようにする。試験中は、試験室内を定期的に巡回するよう指導している。

※机上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆又はシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ティッシュ

(e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。

(f) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静謐な環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

結果は、試験会場は表 7 のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表7 借用会場

| | 平成18年度春期 | 平成18年度秋期 | 平成19年度春期 | 平成19年度秋期 | 平成20年度春期 | 平成20年度秋期 | 平成21年度春期 | 平成21年度秋期 |
|--------|------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|------------------------------------|---|
| 借用会場 | 沖縄大学 | 金城中学校 | 沖縄大学 | 沖縄大学 | 沖縄大学 | 沖縄大学 | 沖縄大学 | 沖縄大学 |
| 受験申請者数 | 1,632 | 1,840 | 1,614 | 2,009 | 1,581 | 1,890 | 1,778 | 2,164 |
| 会場規模 | 1,700 | 800 | 1,700 | 2,100 | 1,700 | 500 | 1,800 | 1,700 |
| 交通機関 | 那覇市内線バス 那覇おもろまち線 沖縄大学前下車徒歩2分 | モノレール小禄駅下車徒歩15分 | 那覇市内線バス 那覇おもろまち線 沖縄大学前下車徒歩2分 | 那覇市内線バス 那覇おもろまち線 沖縄大学前下車徒歩2分 | 那覇市内線バス 那覇おもろまち線 沖縄大学前下車徒歩2分 | 那覇市内線バス 那覇おもろまち線 沖縄大学前下車徒歩2分 | 那覇市内線バス 那覇おもろまち線 沖縄大学前下車徒歩2分 | 那覇市内線バス 那覇おもろまち線 沖縄大学前下車徒歩2分 |
| 借用会場 | | 那覇中学校 | | | | 小禄中学校 | | 小禄中学校 |
| 会場規模 | | 700 | | | | 900 | | 600 |
| 交通機関 | | 那覇市内線バス 松川新都市線 夫婦橋下車徒歩3分 | | | | ・モノレール小禄駅下車徒歩17分 ・那覇市内線バス安岡宇栄原線 小禄中学校前下車徒歩1分 | | ・モノレール小禄駅下車徒歩17分 ・那覇市内線バス安岡宇栄原線 小禄中学校前下車徒歩1分 |
| 借用会場 | | 上山中学校 | | | | 鏡原中学校 | | |
| 会場規模 | | 400 | | | | 600 | | |
| 交通機関 | | モノレール旭橋駅下車徒歩15分 | | | | モノレール奥武山公園駅下車徒歩9分 | | |
| 借用会場 | | | | | | 那覇商工会議所 | | |
| 会場規模 | | | | | | 200 | | |
| 交通機関 | | | | | | モノレール旭橋駅又は県庁駅前下車徒歩10分 | | |
| 事業実施機関 | 独立行政法人情報処理推進機構 | | | | 那覇商工会議所 | | | |

(g) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果

該当する事実はなかった。

(h) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止

那覇商工会議所は、警備員を配置し対応したため問題も発生せずクレームもなかった。

- (i) 試験の座席配置については、原則、1人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

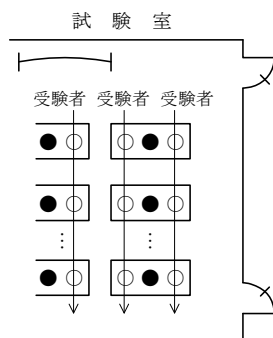


図 座席配置の例 (『監督員マニュアル』より抜粋)

③平成20年4月～平成22年3月に実施した試験における調査項目ニの結果

表8 受験申請者数及び実施経費

| | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|--------|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 事業実施機関 | 独立行政法人情報処理推進機構 | | | 那覇商工会議所 | | |
| 受験申請者数 | 3,609 | 3,472 | 3,623 | 3,471 | 3,942 | — |
| 実施経費 | 3,184,000円 | 3,457,000円 | 3,306,000円 | 3,332,700円 | 3,332,700円 | 3,332,700円 |

※ 那覇商工会議所の実施経費は、請負契約金額を3等分したものである。

(4) 調査方法

機構は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(5) 調査結果における特記事項

市場化テストにより、民間事業者に委託した沖縄支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、また、会場確保も前年からの継続もあるが事業者自身で確保できたことから、上記のとおり概ね評価できる。